

グラウンドクルーの仕事

株式会社オフィスショウ 池田 省治

日本ではグラウンドキーパー、グリーンキーパー、芝管理者など様々な呼び方をしています。どの様な呼び方をしても良いのですが、その仕事内容が大切です。

グラウンドクルーのヘッドは担当責任者と言われますが、本当に責任を負うという事は、メンテナンス方法を考え、その実作業も自分で行い、両面から最適な方法を考えて計画し作業する事です。優秀なグラウンドクルーのヘッドの仕事として、設計の段階から維持管理を考えた設計のアドバイスができる事はもちろん、芝のメンテナンス技術、ペイント技術、イリゲーションシステム技術、イベント養生技術など、グラウンド上で行う出来事全てにおいて、その技術を身につけなければなりません。

またその技術は常に進歩しているので、今までの経験を踏まえ、新しい技術にチャレンジして、人工芝よりも丈夫で、毎日でも多くの時間を気持ち良く使えるフィールドを作る努力と学習をみんなで築きあげていきましょう。

今回、芝のメンテナンス技術を考えると、基本は“芝刈り”“水”“肥料”をいかに正しく管理するかが大切です。短い時間(30分~60分)で刈り込みができ、均等散水が自動ででき、利用に合わせて肥料を適切に行えば、間違いなくTURFができます。さらに利用を増やしたいときは、エアレーションとバクテリア管理を加えます。さらに液肥を有効に使えば、利用を増やせるでしょう。

正に、これらの作業を天候に合わせて、利用目的に沿った予算の中で、メンテナンスをしていくのが仕事です。

そして、向上心を常に持ち、どのように今後良くしていくかを利用者とのコミュニケーションをとり、日々笑顔で前向きに学習意欲を持ち続けていく事が大切です。

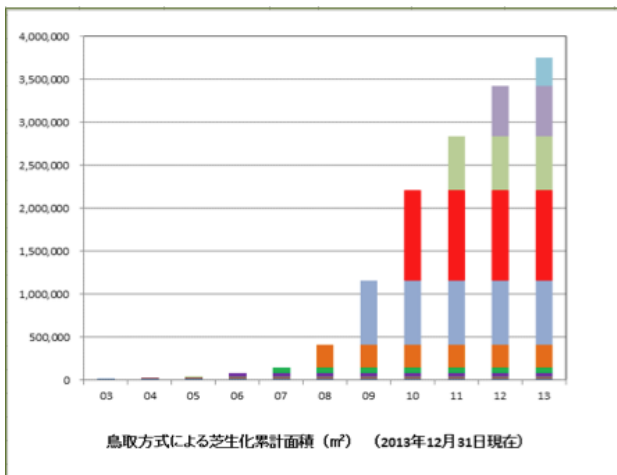


グラウンドキーパーの大切な仕事、ライン引き(左上)、肥料散布(右上)、芝刈り(右下)



鳥取方式®の広まり(前編)

グリーンスポーツ鳥取 代表 ニール・スミス



年々増え続けている芝生化面積(グラフ)

2003年に鳥取県から借り受け、芝生化した湖山池北岸のグリーンフィールド(通称)。ここからスタートした、今まで日本になかった芝生化方法(いわゆる「鳥取方式®」)がその後の10年で今はご覧の通り(グラフ参照)。

47都道府県で2,300ヶ所、面積が375万 m² で芝生化され、今数多くの利用者が毎日、当たり前のように芝生の上で遊んでいます。

なぜ鳥取方式®がここまで広がったのでしょうか。今までにない手法で出来るという技術的なことも貢献しているでしょう。その結果としてコストが今まで考えられたより大幅に安く出来るのも貢献しているでしょう。

でも、最も本質的な要因があるように感じます。それは今までの「芝生化」と比べて、「鳥取方式®」はその場所その場所の利用者に一番適している施工や維持管理の仕方を提供しているからではないでしょうか。本当の意味で利用者を再優先に考えているからです。

各場所で必要最低限の設備や維持管理作業を提案することで、お金も労力の無駄を極力なくして、結果として持続可能な芝生を実現することが秘訣でしょう。



鳥取方式®の芝生 維持管理カレンダー

ティフトンの芝生（冬シバをオーバーシーディングした場合）

	5 月		6 月		7 月		8 月	
	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*
第1週								
第2週	4回(4cm)	1回	4回(4cm)	1回	4回(4cm)	1回	4回(4cm)	1回
第3週		20 kg		30 kg		30 kg		30 kg
第4週								

※ 施肥は 1,000 m²あたりの標準散布量(14-14-14%化成肥料)

【管理のポイント】

5 月(冬シバからティフトンへの移行期)

屋の最高気温が 20℃を超える時期になると冬シバの生育は急激に活発になるので4月下旬から5月以後は週1回以上の芝刈りを行ってください。降雨や朝露で湿っている場合でも、回収せずに刈り落としでもよいから刈り遅れしないように芝刈りを行い、地際まで太陽光が届くようにしてください。冬シバを刈らずに長いままに放置しておく、地表で待機している夏シバ(ティフトン)の萌芽が抑制され、冬シバから夏シバへの移行(トランジション)が出来なくなり、冬シバの生長終期(6月下旬～梅雨明け)にティフトンが消滅している場合があります。

4月の冬シバの密度が高く、生育も旺盛でティフトンを圧倒する恐れがある場合には、4月から週1回の芝刈りを励行し、それでも冬シバの生長が活発な場合は低刈り(2.5cm程度)あるいは週2回の芝刈りを行うなど冬シバを抑制するような管理をしてください。

5月までの散水は1週間雨が降らない場合に軽く(2mm程度:真夏の半分)撒いてください。6月以後の盛夏期は原則として毎日(4mm)散水してください。十分な散水設備がなく、手作業で散水する場合は最低限週2回以上の散水を行って下さい。

施肥については、夏シバ(ティフトン)の生長が本格化する時期であるので、6月～9月は肥料を増量してティフトンの生長を促進してください。裸地の解消やふかふかしたターフの形成が可能となります。

なお、地面の凹凸や水溜りが発生している場合は、ティフトンの生長が盛んなこの時期にマサ土または細砂で目土散布(3mm～5mm)を実施してください。



2009年 鳥取久松公園の芝生化

2009年、鳥取青年会議所が創立50周年を迎えた際、記念事業として「いなば総芝生化大作戦」と銘打って久松公園の鳥取方式の芝生化を実施いたしました。私も2009年1月に視察に行き、ニールさんと出会い衝撃を受けた一人です。

芝生化を通して、緑化推進、子どもたちの育成(体力面・精神面)、地域コミュニティの醸成など、様々な効果・可能性が広がることは皆様ご存知の通りだと思います。

「久松公園」は鳥取城後のお膝元にあり、文化財に指定されており、クリアすべき問題も多くありましたが、鳥取県・鳥取市・鳥取県体育協会・グリーンスポーツ鳥取・スポーツ施設協会さん他、多くのご協力を頂き、芝生化が実践することができました。

また、10月には、ご協力を頂いた皆様にも参画していただきながら、芝生を体感「はだしの王国」という、芝生化した久松公園で子ども達に芝生を体感してもらい、また親の方には、鳥取方式の芝生化の認知を高める事業を行いました。

この芝生化を進める事業を通して、多くの方にご協力、関わりを持たせていただきました。行政・青年団体・NPO・マスコミ他、多くの方々とベクトルを合わせて取り組んだ時に、すごいエネルギーを発揮することを痛感しました。

今後も、多くの方々と関わりながら、子どもたちが、また、地域が笑顔であふれるように、微力ながら活動を続けていきます。

鳥取青年会議所 OB
鳥取方式芝生化サポートネットワーク 監事 今井敏明

■ お問い合わせ先 ■

鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク事務局（鳥取県文化観光スポーツ局スポーツ課内）

電話：0857-26-7919 E-mail：office@tottoristyle-shibafu.org

URL：<http://www.tottoristyle-shibafu.org/network/>

※「鳥取方式®」はNPO法人グリーンスポーツ鳥取の登録商標です